

宗谷地区の防風林における施業の確立に向けて

～宗谷地区の民国連携の取組（防風林施業マニュアルの作成）～

宗谷森林管理署

【現状・課題・目的】

①宗谷地区は、酪農地帯を風害から守るために海岸防災林造成事業が進められ、無立木地から防風林として初期の目的は達成したものの、植林木の過密化による公益的機能の低下が見られることから、間伐等の森林整備が必要。

②管内の民有林にも多くの防風林が存在し同様の課題があることから、防風林における施業方法の確立に向けて、民国連携して取り組むこととした。

【これまでの取組や成果】

①H26からメークマ地区の国有林で林況調査と間伐、H28から浜頓別地区の国有林で林況調査と間伐を実施。

②H29に浜頓別地区の国有林と民有林の海岸防災林で現地検討会を開催。

③これまでの国有林や民有林の本数調整伐等の整備事例や現地検討会の資料、アンケート結果、モニタリング結果等をデータとして集積。

【平成30年度の取組結果・成果】

＜現地検討会の開催＞

宗谷総合振興局林務課及び森林室と連携し宗谷地区の防風林における施業の確立を目的として、浜頓別地区の民有林、国有林で間伐・植栽等に関する現地検討会を開催。



民有林の枝打ちを組み合わせた間伐



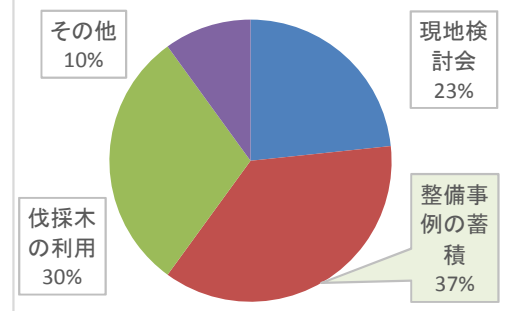
国有林の防風効果を考慮した間伐

① 民有林においては、列状間伐と残存木の枝打ちを組み合わせた施業を報告。

② 国有林においては、防風効果を考慮した列状間伐と防風垣を設置した植栽を報告。

③ 参加者に対して実施したアンケートの調査結果では、間伐等の整備事例の蓄積が重要との結果。

④ 防風林の施業に関する現地検討会の報告書を作成し、3月14日に開催された地域林政連絡会議で報告するとともに関係機関等に配布した。



アンケート
「防風林の施業推進に必要な事項」

【今後の取組で目指すところ】

①今後とも、部会等により、民有林と国有林で情報を共有し、双方の知識や技術の向上を図ることが重要。

②アンケート結果を踏まえ、引き続き間伐等の整備事例を蓄積。

③一方で、造林等のコスト縮減等の現地検討会を希望する意見も考慮。

④モニタリングについては、重要かつ長期的な取組が必要なことから、効果的な手法を検討。

⑤これらを踏まえ、次年度以降の活動を検討。

【今後の目標】

- ◆ 民有林にも参考となる防風林施業マニュアル（事例集）を作成するとともに、モニタリングにより施業の効果を確認し、将来的に宗谷地区の防風林施業の確立を目指す。